

首都圏エリア
初登録

JAPAN ECO TRACK®

成田空港-九十九里エリアで展開する「産官学民・連携サイクルツーリズムプロジェクト」が
(株)モンベル等の推進する【JAPAN ECO TRACK※】に首都圏エリア初登録！！

2022年4月より、モンベルフレンドエリア九十九里と成田空港、千葉大学、地元サイクリスト達が連携し、エリア内の交流人口拡大と地域活性化を目的に「産官学民・広域連携のサイクルツーリズムプロジェクト」を展開しています。

この度、プロジェクトを展開する成田空港-九十九里エリアが、総合アウトドアメーカー(株)モンベル等の推進する【JAPAN ECO TRACK※】に首都圏エリアで初めて登録されました！

登録エリアは、航空機が飛び交う景色を一望できる「ひこうきの丘」、ブルーフラッグ認証を取得している「本須賀海岸」、カヤックやサップが楽しめる「栗山川」等、多くのローカルコンテンツの魅力に溢れています。

”サステイナブルなツールとして注目されているサイクリングやカヤック、サップ”だからこそ見える風景、発見できる地域の魅力を探しに是非、足を運んでいただければ幸いです！

※「JAPAN ECO TRACK」:自転車やトレッキング・カヌーといった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しむ新しい旅のスタイルとして、全国28エリアに展開中(2023年3月現在)

《公式アプリ》 JAPAN ECO TRACK

JAPAN
ECO
TRACK

ルート検索・GPS地図機能搭載

ジャパンエコトラックアプリ

旅のプランニングに便利なルート検索機能や、お出かけ先でも役立つGPS地図機能など、多彩な機能を搭載！
ジャパンエコトラックの公式アプリが旅をサポートします！

《ルートマップ》 全国100以上のモンベル各店舗に配架

《公式サイト詳細》 <https://www.japanecotrack.net/area/1110>

- ・ 里山から田園風景を眺めながら海を目指す「九十九里周遊サイクリングルート」
潮風香る河川を巡る「木戸川・栗山川サイクリングルート」など全8コース展開！
- ・ コースマップ、高低差、サイクルラック 等の基本情報に加え観光情報も満載！



公式サイト【QRコード】

NAA 成田国際空港株式会社

〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内NAAビル

URL : <https://www.narita-airport.jp/jp/>

【サイクリング・カヤックコース紹介】 ※JAPAN ECO TRACKルートマップより抜粋



九十九里周遊 サイクリングルート



- ・ 旅の起点となる成田空港温泉「空の湯」から九十九里エリアの1市2町を走り抜けるルートです。
- ・ 九十九里浜の温暖な気候によって四季折々の農作物が実る田畑や自然豊かな里山風景を楽しめます。

芝山町 サイクルルート



- ・ 飛行機が往来する空の下、お寺や博物館で古代の歴史に触れながら芝山町を一周するルートです。
- ・ 人物や動物などの形象埴輪をはじめ、貴重な文化遺産の数々が、はるか昔に思いをはせるタイムトリップへと誘います。

山武杉里山 グラベルルート



- ・ 芝山町のお寺や博物館などの文化遺産を眺めながら、山武杉の立ち並ぶ里山を走るグラベルルートです。
- ・ オフロードが楽しめる里山を進んだ先には、九十九里平野の水田地帯が広がります。

横芝光町 サイクリングルート



- ・ 見渡すかぎりの田園風景を眺めながら、栗山川上流から太平洋を目指すルートです。
- ・ 九十九里浜のほぼ中央に位置する屋形海岸からは、雄大な太平洋に上る朝日を見ることができます。

九十九里浜沿岸 サイクリングルート



- ・ 太平洋岸自転車道の起点から、日本最大級の砂浜海岸である九十九里浜沿いを走るルートです。
- ・ 大海原の雄大な景色と地域の豊かな「食」を楽しめるルートです。

木戸川・栗山川 サイクリングルート



- ・ 九十九里平野の中央を静かに流れる木戸川、栗山川を巡るルートです。
- ・ 潮の香りを楽しみながら、川沿いの堤防を走ります。

山武七福神巡り サイクリングルート



- ・ 七福神巡りの御朱印帳を片手に、山武市内を巡るルートです。
- ・ 関東有数のいちご狩りを楽しめるスポットもあり、地域の豊かな「食」も楽しめます。

栗山川 パドリングフィールド



- ・ 九十九里平野を流れる栗山川は、流れが緩やかなため、初心者でも安心して楽しむことができます。
- ・ 水上からは、成田空港を離発着する飛行機や季節によっては、渡り鳥をみることができます。

【今後のプロジェクト展開】

- サイクルイベントの開催やサイクリスト受け入れ体制の強化、地元ガイドの育成
 - ・ 協力店舗の拡大(サイクルラック設置、空気入れ設置店の拡大)、地元サイクリストとの連携
- サイクルコースの広域化
 - ・ 太平洋岸自転車道(国土交通省・ナショナルサイクルルート)に絡めたコース拡大を検討
- 公共交通との連携やサイクルツアーの企画(電車・バス等の連携やガイド付きツアーの提案)